

22-7

特17
287

265

御料地
拂下案内

041441-000-1

特17-287

御料地
払下案内

北村 啓次郎/著

M31.3

BDG-0043



御料地拂下案内

御料地ノ拂下ヲ受ケントスル者ハ御料地特賣規程ニ據リ願書ヲ差出スベシ否ラザレバ詮議セラレザルベシ其御料地特賣規程トハ本年宮内省告示第一號(官報一月三十一日)公布セラレタル者ナリ

宮内省告示第一號

今般御料地名古屋支應靜岡支應及度會事務所并東京事務所所轄武藏國西多摩郡南御料地ノ内百町步未滿ニ係ル拂下豫定ノ土地ハ相當代價ヲ以テ該地ノ各關係者へ拂下ケ候條拂下望ムハ左ノ特賣規程ニ依リ本年三月三十一日迄ニ御料局へ出願スベシ

明治三十年一月三十一日

宮内大臣伯爵 土方 久 元

御料地特賣規程

第十條 御料地名古屋支應靜岡支應及度會事務所所轄并東京事務所所轄武藏國西多摩郡南御料地ノ内百町步未滿ノ土地ニシテ拂下グベキ豫定ノ箇所ニ限リ本規程ノ定ムル所ニ從

テ其ノ土地ニ關係ス有スル者へ拂下グルモノトス

前頁拂下豫定ノ箇所ハ別冊拂下豫定御料地箇所表ニ之ヲ掲グ

御料地ハ何レノ場所ニテモ隨意ニ拂下ゲラル者ニハアラズ尾張三河美濃飛驒(名古屋支應所轄)遠江駿河甲斐伊豆相模武藏信濃(靜岡支應所轄)伊勢志摩(度會事務所所轄)武藏國西南北ノ三多摩郡(東京事務所々轄)ノ内百町步ニ滿タザル土地ニシテ拂下地ト豫定セラレ

タル箇所ニ限ルモノナリ其箇所ハ本年一月三十一日ノ官報ニ就テ見ルベシ其拂下豫定地ハ如何ナル手續ニテ拂下ヲ出願スベキヤ又如何ナル縁故アレハ拂下ゲラルベキヤハ次ノ條以下ニ示サレタルハ順次之ヲ説明セン

第二條 前條土地ニ關係ヲ有スル者トハ左ノ各項ニ該當スルモノヲ謂フ

御料地拂下ケテ受クルノ縁故ハ本條ニ因テ定メラレタル者ナレハ如何ニ拂下ヲ望ムモ本條ニ示サレタル縁故ナケレハ勞シテ効ナシ左ニ第一ノ縁故ヨリ順次之ヲ説キ明サン

第一 草木刈伐ノ爲入會ノ慣行アル土地ハ其ノ入會部落

入會ノ慣行トハ其地方ニテ古來ヨリ入會地ト唱ヘ居ル場所ヲ云フモノニシテ其入會地タル御料地ハ入會ノ部落ヘ拂下ゲラルハナリ部落トハ大小色々アリテ大ナレハ市町村小ナレハ小字ヲ指ストト知ルベシツマリ御料地ヲ拂下ゲタル爲メ古來ヨリノ入會地ヲ滅シテハ入會者一同ノ迷惑トナルコト故其御料地ヲ入會部落ヘ拂下ゲ從前ノ通り入會地タラシメントノ趣意ニ外ナラズ

第二 木竹土石其ノ他ノ產物ヲ本規程告示以前ヨリ特賣スル慣行アル土地ハ其ノ特賣ヲ受クル者

木竹土石落葉下草秣等ノ產物ヲ入札方法ニ依ラズシテ從前ヨリ屢々拂下ケテ受ケ來リタル者ハ其產物ノ生ズル土地ヲ拂下グルコトヲ得ベシ

第三 社寺上地ノ外社寺ニ於テ從來祭典法用ニ使用シタル土地ハ其ノ社寺神社ノ祭禮又ハ寺院ノ法事施餓鬼若クハ開帳等ノ節使用シ來リタル御料地ハ其ノ使用シ來

リタル社寺ヘ拂下ケラルハナリ

第四 社寺上地ノ外神祠佛堂ノ存在スル土地ハ其ノ祠堂ノ主持者

第五 祠宇其他遺蹟ノ存在シ又ハ墓碑等ノ建設シタル土地ハ其ノ子孫若ハ縁故者

第六 舊城跡舊陣屋跡地ハ其ノ舊領主又ハ其ノ相續者

第七 部分木ノ仕付アル土地ハ其ノ仕付者

部分木トハ二官八民トカ三官七民トカ云フ割合ニテ成木ヲ御料局ト森林仕付者トノ間ニ分ケ取リスル約束ニテ仕付アルモノヲ云フコトニテ單ニ森林ノ仕付者ト云フコトニアラズ故ニ部分木ニハ必ス其証ヲ下付サレアル筈ナレハ其証ナキモノハ部分木仕付者ニアラザルナリ

第八 一ケ年期以上ノ貸付地ハ其ノ借受者

御料地拜借期限一ケ年期以上ノモノニアラサレハ從來如何程長ク拜借使用シ居ルモ縁故ナキモノトス例ヘハ六ヶ月毎ニ願繼ヲナシ已ニ三ケ年モ使用シ居レハトテ縁故者ニアラザルカ如シ

問 拜借者ハ拜借地ノ外ハ出願シ得ザルヤ

答 拜借地ニ限ルコト勿論ナリ但シ其ノ周圍若クハ近接地ハ場合ニ依リ拂下ゲラルコトアルベシ開ハ下ニ説カン

第九 第一乃至第八ノ關係ヲ有セザル土地ニシテ民有地ト接續スルモノハ其ノ接續地ノ各所有者

第一ヨリ第八迄ノ縁故ハ皆同等ノモノニシテ其間ニ優劣ナシ然ルニ接續地ノ所有者ノミハ

第一ヨリ第八マデノ縁故者ナキ御料地ニ限り出願スルコトヲ得ルモノナレバ接續地主タル者ハ其御料地ニ第一ヨリ第八マデノ縁故者アルヤ否ヲ調査シタル上ナラデハ出願スルモ徒勞ニ屬スルヲアルベシ然レモ接續地主二人以上アル場合ニ於テ其接續地主相互間ノ縁故ハ同等ナルニ依リ御料地ニ接續シタル面積ノ廣狹ニ拘ハラヌ拂下ヲ受クルノ縁故者タルニ相違ナキモノナリ

問 道路河川溝渠等ヲ隔テタル隣地ハ接續地ト云フヲ得ルヤ

答 此等間接ノ隣地ハ概シテ接續地ト云フヲ得ズ尤四隣ノ地形ヲモ熟覽シタル上ニアラザレバ一概ニ斷定シ難カルベシ

第三條 前條ノ關係者ニシテ其ノ土地ノ拂下ヲ望ム者ハ其ノ土地所轄ノ各支廳及其ノ出張所又ハ事務所ニ於テ該地ニ係ル契約上其ノ他ノ義務ノ有無ヲ承合セ且實地ノ狀況ヲ熟覽シタル上明治三十一年三月三十一日マデニ甲號書式ノ拂下願書ヲ御料局(東京赤坂離宮内)へ差出スベシ

前項ノ期限ヲ過ギテ差出シタル拂下願書ハ何等ノ事由アルモノ之ヲ受理セザルモノトス問 接續地ノ所有者トハ告示發布當時ノ所有者ニ限り其後ノ所有者ハ縁故ナキカ

答 出願ノ際所有者ナレバ新舊ハ問ハザルナリ

拂下豫定ノ御料地ニ對シ前條第一ヨリ第九マデノ縁故ヲ有スル人ニテ其拂下ヲ望ムモノハ其御料地ヲ管理スル御料局支廳カ事務所又ハ出張所ニ就キ其御料地ハ他人ニ對シ義務ヲ負ヒ居ルヤ否ヤ若シ負ヒ居ルトセバ其義務ハ如何ナルモノナルヤヲ問合セ又實地ニ就テ篤ト

其狀況ヲ見後日見込違ナキ様何事ヲモ承知ノ上相當代價ヲ見積リ甲號書式ニヨリ拂下願書ヲ認メ三月三十一日迄ニ御料局へ差出スベシ若シ期日ニ後レタルトキハ願書ハ受理セラレザルナリ

問 實地ヲ熟覽シ又ハ義務ノ有無ヲ承合ハスハ實際如何ナル必要アリヤ

答 總テ山林原野ノ如キハ公稱反別ト實測反別トノ間ニ大差アリ又荒地缺地不毛地等モアルコトナレバ實地ヲ熟覽セズシテ代價ヲ見積ルコトハ到底ナシ難ク又御料地ハ場合ニ依リ落葉下草等ノ拂下年期中ニ係ルモノアリ或ハ隣地ノ爲メ通行權ヲ許シ居ルトカ電柱敷地トナリ居ルトカ種々ノ義務ヲ負ヒ居ルヲアルベシ此等ノ義務ハ拂受人ニ於テ繼承スベキモノナレバ篤ト承知ノ上ナラデハ拂下後意外ノ負擔ニ驚クヲナキヲ保セズ但シ右等思違アルモ頓着ナシト覺悟シ置ク以上ハ實地ヲ見ザルモ義務ヲ承合ハサズトモ願書差出ニ妨ゲアルコトナシ

問 願書差出ノ手續如何

答 願書ハ東京市赤坂離宮内御料局へ宛テ可成書留郵便ニテ差出スベシ決シテ本人持參出京スルニ及バズ但シ願書差出ノ期日ハ大切ナレバ並郵便ニ付スルハ安全ナラズ

問 三月三十一日迄ニ發送スレバヨキヤ

答 三月三十一日迄ニ御料局へ届ケラル、ヲ要ス若シ三月三十一日以前ニ差立ツルモ四月一日以後ニ御料局へ届クトキハ無効トナルベシ

甲號書式

御料地拂下願

何國何郡何市町村大字何字何番地御料地(ノ内)

(反別何程ノ内)

一 反別何程

何地

此代金何程

但壹反歩ニ付金何程

右御料地内立木

一 何木 何本(樹種ハ主ナルモノノ之ヲ
掲グ其他ハ雜木トスヘシ)

此尺ハ何本(此棚數何棚)

此代金何程

但壹尺ハ(壹棚)ニ付金何程

(反別立木トモ御料地一筆毎
ニ此例ニ準シテ記載スヘシ)

合計代金何程

内 土地代金何程
立木代金何程

右御料地ノ義ハ何々(拂下ヲ受ケヘキ關
係ヲ詳記スヘシ)ニシテ本年宮内省告示第一號御料地特賣規程

第二條第何ニ該當スル者ニ付御拂下ノ義相願候條御許可被成下度右御料地圖面(圖
ニハ四五ノ境界道路河川
等ノ關係ヲ詳記スヘシ)相添此段奉願候也

明治 年 月 日

何府縣何國何郡何町村

大字何字何番地

何府縣華士族平民

氏 名 印

(市町村又ハ會社等ニ係ルモノハ其ノ代表者)

(社寺ハ神官住職氏子檀徒又ハ信徒總代)

御料局長男爵岩村通俊殿

(寺院ハ其宗管長ノ奥書ヲ要ス)

問 御料地(ノ内)(反別何程ノ内)トハ如何ナル場合ニ記スルヤ

答 例ハ第五番地三町歩ノ内一町歩ヲ拜借シ居ルニ依リ其一町歩ノ拂下ヲ受ケントスル

トキハ五番地御料地ノ内反別三町歩ノ内一町歩ト認ムルカ如シ

問 反別何程ノ下ニ何地トアルハ如何

答 何地トハ林トカ原野トカ云フコニテ官報箇所表ニ明記アルニ依リ之ヲ記載スヘシ畑又

ハ荒蕪地ナドト記スベカラズ

問 樹種ノ主ナルモノトハ如何

答 松檜杉櫟等普通用材トナスモノヲ云フ

問 尺ハトハ何ヲ云フヤ

答 方一尺、長二間ノモノヲ尺ハ一本ト云フ但シ四捨五入ノ法ヲ以テ何本何分何厘何毛マ

デ計算スベシ

問 尺ハ計算ノ法如何

答 尺ノ計算法ハ種々アルベキモ下ノ法ニ從ヘバ大差ナカルベシ即チ根際ノ直徑ニ末口ノ直徑ヲ加ヘ之ヲ二除シ平均ノ徑ヲ得之ヲ自乘シ圓法七九ヲ乘シ又木材ノ長ヲ乘シ二間ニテ除シ尺ノ何本ト知ルベシ

問 柵トハ何ヲ云フヤ其算法ハ如何

答 柵トハ一立方坪ノ半分即チ長三尺ノ薪材ヲ高横共六尺ニ積ミタルヲ云フ其算法ハ普通尺ノ六本ヲ一柵ニ換算スルナリ

問 稚樹ニシテ柵ニ計算出來ザルモノ又ハ鹿朶ノ類ハ如何

答 何々何束トスベシ束トハ三尺繩ニテ一ベヲ云フナリ

問 竹ハ如何

答 目通り五寸廻リ以上ハ本數ヲ記シ以下ハ束數ヲ記スヘシ

問 樹木ノ根株ハ如何

答 個數ヲ記スベシ

問 尺ノニスルト柵ニスルト束ニスルトノ區別如何

答 前ニ示ス如キ主ナル樹木ハ尺ノトシ雜木ハ柵トス又主ナル樹種ト雖モ内部ノ腐朽樹幹ノ屈曲若クハ稚種ニシテ用材ニ適セザルモノハ柵トシ鹿朶ノ類ハ束トス

問 立木ナキ片ハ如何

答 立木ナシト記載スルヲ可トス

問 代金ノ計算ハ厘位迄記載スベキヤ

答 四捨五入ノ法ヲ以テ厘位迄記載スベシ

問 (拂下ヲ受ケベキ關)トハ何ツヤ

答 緣故ヲ詳シク認ムルヲナリ左ニ其例ヲ示サン

第一ノ緣故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ往古ヨリ何村何村及何村ノ入會地ニシテ年々草木ノ刈伐ヲ致來リ候モノニシテ本年宮内省告示、、、

第二ノ緣故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ耕地ノ肥料牛馬飼養ノ材料他ニ供給ノ途ナキニ依リ(此處ヘハ特賣ヲ受ケタル事由ヲ詳記スヘシ)明治何年ヨリ何年迄引續キ(又ハ年々)落葉下草ノ御拂下ヲ受ケ現ニ御拂下年期中ニシテ本年宮内省告示、、、

但シ本項ノ緣故ハ可成詳シク記スルヲ可トス

第三ノ緣故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ毎年何月當何神社祭典ノ節神輿渡御所ニ使用シタル土地ニシテ本年、、、

第四ノ緣故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ現ニ地藏堂ノ存在スル土地ニシテ實際拙者ニ於テ主持致居候義ニシテ本年、、、

第五ノ緣故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ私祖先何某戰死ノ場所タルハ正史ノ認ムル所ニシテ、、、又ハ先代ヨリノ墓石建設地ニシテ本年、、、

第六ノ緣故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ去ル何年迄ハ拙者所領ノ陣屋地ニシテ何年官地ニ編入セラレ尋テ御料地ニ御編入相成タル土地タルハ舊記ニ依リ明瞭ニシテ本年、、、

第七ノ縁故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ明治何年何月御許可ヲ得ニ官八民ノ法ニ

依リ檜及杉苗ヲ植付ケ現今ノ森林ト相成タルモノニシテ本年、、、

第八ノ縁故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ開墾ノ爲メ(拜借ノ目的ヲ詳記スヘシ)去ル明治何年ヨ

リ何ケ年間拜借仕居候モノニシテ本年、、、

第九ノ縁故ニテ出願スル場合 右御料地ノ義ハ私所有地ニ接續罷在候處他ニ關係ヲ有ス

ルモノ無之地ニシテ本年、、、

問 圖面ハ如何ニ認ムヘキヤ

答 下ニ示シタル圖ニ依リ解得スベシ

問 願書ヲ差出スニ當リ願人トナルベキハ誰ナルヤ

答 一口ニ言ヘハ縁故アル人ヨリ願出ツベキナリ縁故アル人トハ第二條ニ示サレタル者ヲ

云フ

問 部落ヨリ拂下願書ヲ出スニハ其代表者ハ誰ナルヤ

答 部落ノ市町村ナルトキハ市町村長代表者トナルハ言フマデモナク其字ナルキト雖凡亦

市町村長之レガ代表者トナラザルベカラズ但字ナル場合ニハ何字ヘ拂下ゲラレタシト記

載スベシ而シテ市町村長ハ市町村會ノ決議ヲ經タル上出願スベキト勿論ナリトス

問 入會地ノ場合ニ入會部落ノ人民連署シテ出願スルモ妨ナキヤ

答 入會地ハ尙クモ其部落ノ住民ハ誰ニテモ入會シ得ラレサルベカラサル筈ニテ所謂住民

權ニ屬シ人民各自ノ持分ト異ナルモノナレハ人民ヨリ出願スルト出来ザルベシ是非共部

落ノ代表者ヨリセサルベカラサルナリ

問 代人ヲ以テ出願スル手續如何

答 委任狀ヲ添ヘ差出スヘシ

問 後見人ハ如何

答 市町村長ヨリ後見人タル証明ヲ受ケ之ヲ添付スヘシ

問 願書及圖面等數枚ニ跨ル片ハ綴目ニ割印スベキヤ

答 然リ

問 圖面ノ大サニ制限ナキヤ

答 制限ナキモ可成美濃紙一枚位ノ大サトナスヲ便トス

問 圖面ハ鉛筆ニテ認メテモ差支ナキヤ

答 鉛筆圖ハ消エ易ク粗惡ナル繪具ハ他ノ紙ヲ汚染スル恐レアルヲ以テ毛筆ニテ認メ他ヲ

汚サ、ル繪ノ具ヲ用ユヘシ

問 圖面ハ實測圖ヲ要スルヤ

答 見取圖ニテモ可ナリ

問 願書ニハ証據書類ヲ添ヘテモ差支ナキヤ

答 証據書類ヲ添ユルハ差支ナシト雖凡舊來ノ縁故ナド云ヘバ多クハ大部ニシテ反古同様

ノ書類ナレハ之ヲ添付スルハ實ニ無用ノ勞ニ過ギズ故ニ証據書類ヲ添ヘント欲セバ可成

明瞭ナルモノ、ミヲ選ミ差出スヲ可トス又第二第六第七ノ如キ縁故ニハ可成証據ヲ添ユ

ルヲ可トス

問 願書中ノ字句又ハ數量金額等訂正ノ方法如何

答 可成貼紙ヲ爲サズ誤字ヲ塗抹シ其右傍ニ改書シテ調印スベシ

問 一旦差出シタル願書ハ引替ヘ得ルカ

答 差支ナキ限リハ之ヲ許スベシ

問 或一人又ハ數人ヲ名義人トシ產物ノ特賣ヲ受ケ又ハ土地ノ拜借ヲ爲シ來リタルモノハ

其名義人ヲ使用シ居タルコトヲ証明シテ實際ノ拂受人又ハ拜借人ヨリ願書ヲ差出シ得ル

カ

答 其證據ノ明瞭ナルモノハ證據ヲ添ヘ出願スルコトヲ得ベシ

第四條 第二條第九ニ該當シ拂下グヘキ土地ニシテ其ノ接續地ノ所有者二人以上ナルト

キハ該所有者中ノ一人若ハ數人ニ於テ他ノ所有者ト協議シ乙號書式ニ依リ該地ノ全部

若ハ幾部ノ拂下ヲ出願スルコトヲ得

第一ヨリ第八迄ノ緣故ナキ御料地接續ノ所有者ハ甲號書式ニ依リ拂下ヲ出願シ得ルコト前條

ニテ明カナルモ御料地ノ接續者ハ決シテ一人ニ限ルモノニアラズ若シ二人以上ノ人々ヨリ

各御料地全部ノ拂下ヲ出願スルモ到底目的ヲ達シ得ヘキニアラサレハ此場合ニハ各相談ノ

可全部又ハ幾部ヲ出願スルコトヲ得ルナリ此場合ニ於ケル願書ハ乙號書式ニ依ルヘシ

乙號書式

御料地拂下願

(反別木數代金認メ方ハ甲號ニ同シキヲ以テ略ス)

右御料地ノ義ハ何々(拂下ヲ受ケヘキ關係ヲ詳記)ニシテ本年宮内省告示第一號御料地特賣

規程第二條第九ニ該當スルモノニ候處同規程第四條ニ據リ他ノ接續地所有者ヘ協議

ノ上御拂下ノ義相願候條御許可被成下度右御料地圖面相添此段奉願候也

明治 年 月 日

(署名ノ書式ハ甲號ト同様)

御料局長男爵岩村通俊殿

前書御料地ノ義ハ私所有地ト接續致居候處今般協議相整ヒ誰某ヨリ御拂下出願仕候

ニ付テハ異議無之因テ與印仕候也

明治 年 月 日

何府縣何國何郡何町村大字何

字何何番地何府縣華士族平民

氏 名 印

(寺院ハ其宗管長ノ奥書ヲ要ス)

問 協議ノ上拂下ヲ願フニハ必ズ一人ノ名前ニセサルモ差支ナキカ

答 例ヘハ接續地主十人アリテ内三人願人トナリ七人奥書人トナルカ如キハ固ヨリ差支ナ

シ

問 接續地主協議ノ上各拂下出願人トナルコトヲ得ルカ

答 得ベシ此場合ニハ甲號書式ニ依リ出願スベク乙號書式ニ據ルベキモノニアラズ
問 第一ヨリ第八マデノ緣故者ヨリ出願スルニ當リ接續地主ノ奥書アルモ差支ナキカ
答 第一ヨリ第八マデノ緣故アレハ接續地主ハ其御料地ニハ無關係者ナレハ奥書ヲ爲スハ不可ナリ

問 接續地主協議ノ上全ク御料地ニ緣故ナキ人又ハ町村字等へ其緣故ヲ讓渡シ其讓受人ヨリ接續地主ノ奥書ヲ得テ出願シ得ルカ

答 協議ノ上ト雖モ全ク緣故ナキ者ヨリ出願スルコト出来ズ但シ其讓受人ハ新タニ接續地主ノ所有者トナリタルハ出願シ得ルコト勿論ナリトス

第五條 一團地又ハ一筆地ニ對シ出願者二人以上アリテ其出願ノ區域重複シタルトキハ

各出願者ヲシテ協議セシメ更ニ丙號書式ノ拂下願書ヲ差出サシムルコトアルベシ

一團地又ハ一筆地内ノ一部分ノミヲ出願スル者アル場合ニ於テ地形其ノ他ノ關係上其

ノ拂下ヲ許可スベカラズト認ムルトキハ出願者ヲシテ更ニ御料局ニ於テ指定スル區域

ノ拂下願書ヲ差出サシムルコトアルベシ

前二項ノ出願者ニシテ御料局ニ於テ指定シタル期限マデニ更正願書ヲ差出サザルトキ

ハ其ノ出願地ノ拂下ヲ許可セザルモノトス

一御料地ニ對シ二人以上ノ拂下出願者アリタルハ御料局ニ於テ其緣故ノ重キ方カ或ハ價

ノ高キ方カ何レカハ拂下ルカ或ハ各出願者ヲシテ協議セシメ同一ノ場所ヲ爭ハザル様願書

ヲ更正セシムルコトアルベシ其願書ノ様式ハ丙號書式ニ據ル

丙號書式

御料地拂下願

(反別立木代金認メ方ハ甲號ニ同シキヲ以テ略ス)

右御料地ノ義ハ何々(拂下ヲ受ケヘキ關係ナ)ニシテ本年宮内省告示第一號御料地特賣規

程第二條第何ニ該當スルモノニ付御拂下ノ義相願候處同地ニ對シ他ニ出願者有之ニ

付同規程第五條第一項ニ依リ御示諭ノ趣敬承則右出願者へ協議ノ上本書更正更ニ御

拂下ノ義相願候條御許可被成下度右御料地圖面相添此段奉願候也

明治 年 月 日

(署名ノ書式ハ甲號願書ノ例ニ同シ)

御料局長男爵岩村通俊殿

前書御料地ノ義ハ先般御拂下出願仕候處今回御示諭ニ依リ協議相整ヒ誰某ヨリ御拂

下出願仕候ニ付テハ異議無之因テ奥印仕候也

明治 年 月 日

何府縣何國何郡何市町村

大字何字何番地

何府縣華士族平民

氏 名 印

(寺院ハ其宗管長ノ奥書ヲ要ス)

又一御料地ノ内一部分ノミヲ出願シタル場合例ヘハ一反歩ノ内五畝歩ヲ拜借シタル人ヨリ拜借地丈ケノ拂下ヲ出願シタル場合ニ若シ之ヲ許可セハ残りノ五畝歩ハ囊地トナル如キ地形其他ノ關係上出願地ノミノ拂下ハ不都合ナリト認メハ御料局ヨリ更ニ相當ノ區域ヲ出願スベキ旨指命セラルベシ此場合ニ於ケル更正願書ハ甲號書式ニ依リ認ムベシ
右重複出願者ヘ協議セシムル場合及區域ヲ變更セシムル場合ニハ御料局ヨリ相當ノ期限ヲ定メ出願人ヘ通知セラルベキニ付キ其期限迄ニ更正願書ヲ出サレハ拂下ハ許可セラレザルモノトス

第六條 出願者ノ申立價格ニシテ不相當ト認ムルトキハ其ノ拂下ヲ許可セザルモノトス代價ノ相當ナリヤ不相當ナリヤハ御料局ノ見込ニ依ルモノナレバ代價不相當ノ爲メ許可セラレザレハトテ出願人ニ於テ苦情ヲ申立ツル餘地ナキヲ勿論ナリ故ニ出願人ハ比隣ノ地價土地ノ狀況立木ノ模様等ヲ參酌シ相當ノ代價ヲ付シテ差出スベキナリ徒ラニ過廉ノ價ヲ付シタルタメ拂下ラレザルニ至ルモ自業自得ト諦ムルノ外ナカルベシ左リトテ御料局ノ見込額ヲ超過セザレハ直チニ許可セラレズト云フニモアラザルベシ即チ其差ノ僅少ナル場合ニハ或ハ一應ノ打合セアルコトモアラシキ

第七條 拂下願書ニ對スル指令書ハ出願地所轄ノ各支廳又ハ事務所ヲ經テ其ノ出願者ヘ之ヲ送達スルモノトス
第八條 出願者ハ拂下許可ノ指令書領收ノ日ヨリ十日以内ニ丁號書式ノ受書ヲ拂下地所轄ノ各支廳又ハ事務所ヘ差出スベシ

出願者前項ノ期限ヲ過グルモ受書ヲ差出サルトキハ拂下許可ノ指令ハ當然其ノ効力ヲ失フモノトス

拂下願書ニ對シテハ許可スルトカ許可セザルトカ何レカノ指令ヲ與ヘラルベシ許可セラレザレハ致方ナキモ許可セラレタルキハ其指令書ヲ受取リタル日ヨリ十日以内ニ受書ヲ差出スヘシ此期限ヲ過クルモ差出サレバハ指令ハ無効トナルヘシ受書ハ丁號書式ニ據ル

丁號書式

壹錢証
券印紙

御料地拂下受書

明治何年何月何日ヲ以テ出願仕候何國何郡何市町村大字何字何御料地(外何筆合)反別何程(土地立木トモ)御拂下ノ件ニ對シ何年何月何日御局第何號ヲ以テ御許可相成候ニ付テハ御料地特賣規程ヲ遵守スルノ外尙左ノ條項確守可仕候

- 一 御拂下ノ土地(立木)ハ實地熟知ノ上出願仕候義ニ付其面積(數量)價額ニ相違アルヲ發見候トモ何等苦情不申立候事
- 一 御拂下許可御指令ノ日以後ニ於テ不可抗力又ハ其ノ他御局ノ責ニ歸スヘカラザル原因ニ由リ生シタル拂下土地(立木)ノ亡失毀損ハ總テ拂受人ノ負擔トシ御局ニ對シテ損害ノ要償等ハ一切不申立候事

右御受仕候也

明治 年 月 日

(署名ノ書式ハ拂下出願書式ノ例ニ全シ)

御料局長男爵岩村通俊殿

第九條 拂受代金ハ前條ノ受書ヲ差出シタル日ヨリ三十日以内ニ於テ拂受人之ヲ拂下地所轄ノ各支廳又ハ事務所ヘ納入スヘシ
拂受人前項ニ從ヒ拂受代金ヲ納入セザルトキハ拂下許可ノ指令ハ當然其効力ヲ失フモ
ノトス

第十條 拂受代金納入済ノ上ハ拂下地ノ所有權ハ實地ノ引渡ヲ要セズシテ拂受人ニ移轉スルモノトス

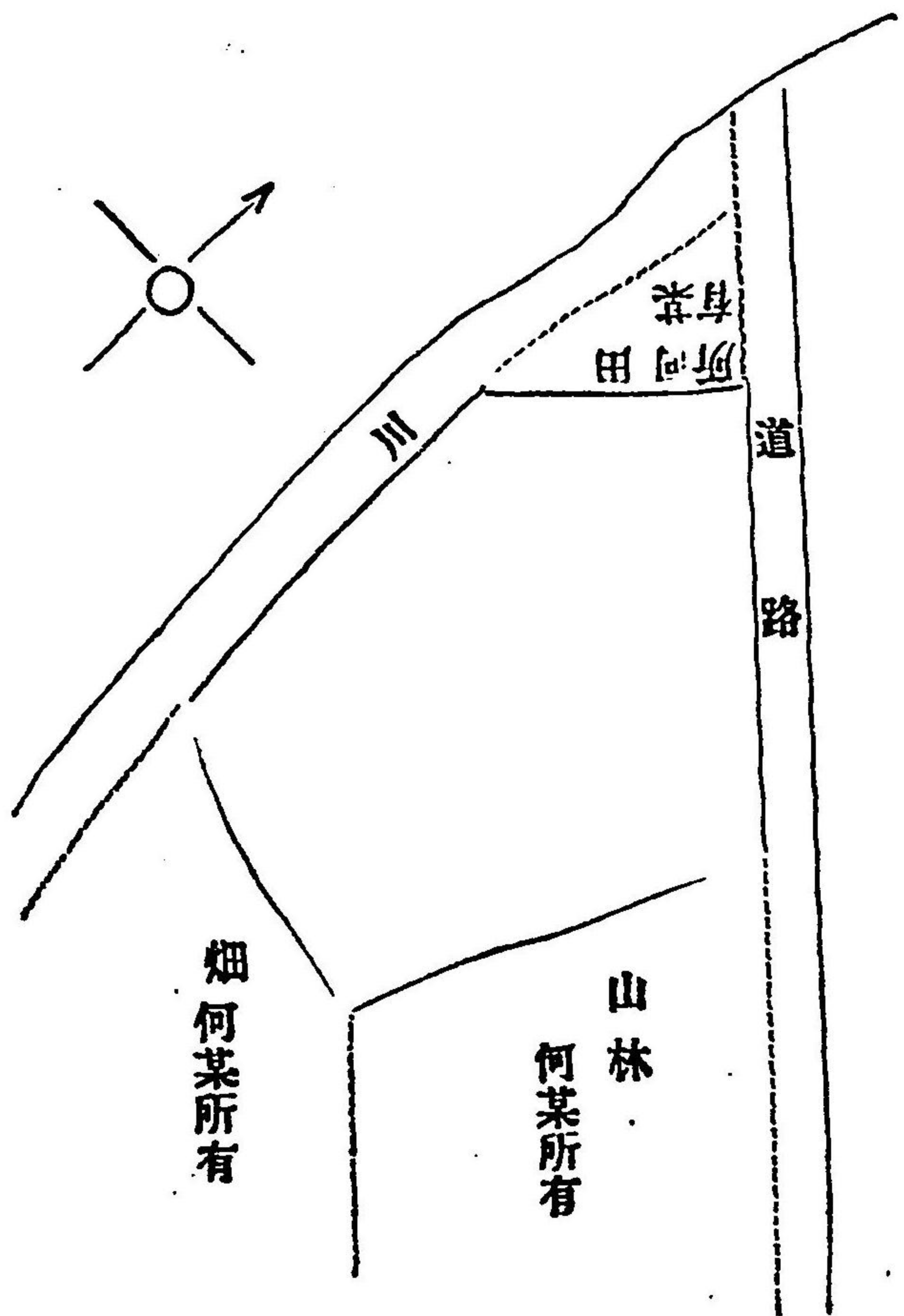
登記ハ御料局ヲ經テ登記所ヘ請求セラルヘシ

第十一條 拂下地ニ係ル契約上其ノ他ノ義務ニシテ所有權取得以後ニ涉ルモノアルトキハ拂受人之ヲ繼承履行スヘキモノトス

第十二條 第二條ノ關係者第三條ノ期限マテニ拂下ヲ出願セザルトキ若ハ第五條第六條ノ場合ニ於テ拂下ヲ許可セザルトキ又ハ第八條第九條ノ場合ニ於テ許可ノ指令ノ効力ヲ失ヒタルトキハ其ノ土地ハ之ヲ公賣ニ付スルモノトス

以上數條ハ讀テ字ノ如ク頗ル明瞭ナルニ依リ説明ヲ付セス

何國何郡何市町村大字何字何番地
御料地圖面



右之通相違無之候也

出願人 氏 名 印

御料地拂下案内終

明治三十一年三月三日印刷
明治三十一年三月六日發行

東京市本郷區菊坂町十番地

著作兼
發行人

北村啓次郎

東京市本郷區湯島壹丁目三番地

印刷者 松本秋齋

全 本郷區湯島壹丁目三番地

印刷所 葆光社

全 本郷區弓町壹丁目廿五番地

發行所 弘文社